

熊本県中学校総合体育大会ソフトテニス競技大会要項

- ◇ **主 催** 熊本県中学校体育連盟 熊本県教育委員会
- ◇ **共 催** 玉名市教育委員会 荒尾市教育委員会 玉東町教育委員会 和水町教育委員会
南関町教育委員会 長洲町教育委員会 山鹿市教育委員会 熊本市教育委員会
- ◇ **期 日** 平成30年7月21日(土)～22日(日) 予備日 23日(月)
- ◇ **場 所** 熊本県民総合運動公園テニスコート16面 荒天時 パークドーム熊本 6面

1. 種目名 ソフトテニス

2. 参加資格

- (1) 県下中学校に在籍している生徒で、各中体連代表と認められた単一校で編成されたチーム及びペアであること。
- (2) 引率は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は当該校の校長・教員・部活動指導員とする。教員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とし、県中体連への登録を済ませておくこと。
- (3) 九州中学校体育大会の出場資格を得た場合に、出場できるチームおよびペアであること。

3. 参加料 参加選手一人につき700円とする。参加申込後の返金はしない。

4. 参加制限

(1) 団体戦

- ① 各地区男女各1チームとする。熊本市は男女各2チームの出場を認める。ただし熊本市の参加が25チームを超える場合は3チーム出場を認める。開催地よりさらに1チームの出場を認める。各中体連予選の参加チーム(参加校数ではない)が17チーム以上の場合は1チーム追加出場を認めるが、大会運営可能の場合に限る。本大会参加チームが16チーム未満の場合は、開催地よりさらに1チームの補充を行うことができる。公平性を保つため、特設制限により参加数を男女各16チームにあわせる。以上は参加制限の順位制を表したものとする。
- ② チームは監督1名・コーチ1名・選手8名以内の計10名以内とする。選手は4名以上で出場を認める。

(2) 個人戦

- ① 各郡市代表男女各4ペア(男子8名・女子8名)とする。但し熊本市の男女と天草の女子は各8ペアとする。
 - ② 1ペアにつき監督1名をおくこと。また1ペアごとにコーチ1名をおくことができる。複数ペア出場の場合には、ペアごとの監督・コーチを兼ねることができる。
- ※団体戦・個人戦ともに当該校長・副校長・教頭のいずれか1名のベンチ入りを監督・コーチとは別に認めるが、テニスシューズを着用し、ベンチ入りの位置・コーチング・言動等ベンチ入りした場合の行動は監督・コーチに準じ、監督が責任を持つこと。

4. 競技方法

- (1) 団体戦：トーナメント方式の3ペアによる点取り法とする。1回戦および緒戦チームのみ3ペア目まで試合を行い、以降より2点先取で勝敗を決める。3位決定戦は行わない。
- (2) 個人戦：トーナメント方式とする。3位決定戦を行う。
- (3) ゲーム数：団体戦・個人戦ともに7ゲームマッチを原則とする。但し、天候、時間等により本部で変更することがある。
- (4) 使用球：公認球(白色)とし、団体戦・個人戦による使用球は全国大会に準じる。

(5) 会場等：予備日およびそれに準じる期日までに、大会のすべてを実施完了し、大会終了と九州大会代表権決定を命題とした方策を本部にて決定する。その際には団体戦・個人戦および男女の種別を含め、考え得るすべての方策をとるものとする。荒天等により予備日およびそれに準じる期日までに大会が実施できなかった場合、九州大会代表権は本部の定めた抽選方法で、監督の抽選によって決定する。

(6) 競技規則

- ① (公財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスハンドブック」並びに本大会要項・申し合わせ事項による。
- ② 選手・監督・コーチのユニフォームについては、下記の通りとする。
 - ・選手は『上は襟(4～6 cm)付きで、前立てにファスナーかボタン付きの半袖スポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカート』を着用すること。学校単位で同一のユニフォームとすることが望ましい。
 - ・監督・コーチは『上は襟付きスポーツウェア』を着用すること。
 - ・選手は別記の通り、B5版・横(白地)の大きさに「背面」にゼッケンをつけること。
 - ・監督・コーチは別記の通り、ハガキ大で『県名・学校名・監督またはコーチ』の入ったゼッケンを胸部につけること。
 - ・選手・監督・コーチとも、ソックスおよびテニスシューズを着用すること。
- ③ レフェリーおよびアンパイヤーは、県中体連依頼レフェリー・アンパイヤーとする。
- ④ その他、申し合わせ事項・主幹中体連が示す競技上の注意・会場使用上の注意等による。

5. その他

(1) 申込みについて

① 正式申込みについて

各学校 申込書は代表者会当日、職印を押印の上持参すること

② 組み合わせ等の作成上、団体・個人戦出場ペアについては各地区種目理事が一括して主幹中体連種目理事に、7月6日(金)までに別記方法により参加報告書を提出すること。ただし正式申し込みは①の通りとする。

(2) 1日目に団体戦を、2日目に個人戦を行い、荒天時も含めそれぞれの期日で競技終了させることを原則とする。

(3) 表彰について

① 団体戦では優勝チームに優勝旗ならびに学校と全員に賞状を、2～3位には学校に賞状を授与する。

② 個人戦で1～3位のペアそれぞれに賞状を授与する。1位のペアに熊本県ソフトテニス連盟中学部より優勝杯(持ち回り)を、授与する。

(4) 本大会団体戦上位2チーム・個人戦男女別各4ペアは、九州大会への出場資格を得る。

(5) 監督は、本大会要項および申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意・駐車場やマナー等について、その関係するすべての生徒・応援・保護者も含めた参加者全員に周知徹底すると同時に指導助言を行い、大会を円滑に運営するために最大限の協力を得るための手段をとること。

(6) 各学校の引率の先生には、役員をしていただくことがあります。

(7) 熊本県中体連では別紙個人情報保護方針に基づき、熊本県中体連が保有する情報の適正な管理と保護に努めます。

(8) 各学校の校長・副校長・教頭のいずれか1名はベンチ入りを認めます。ただし、テニスシューズを着用すること。

熊本県中体連ソフトテニス競技大会要項 申し合わせ事項

1. 組み合わせ、およびシード権と抽選について。
 - (1) 団体戦の組み合わせは第1シードを最優先とし、主幹中体連を中心に作成し、代表者会で抽選を行う。
 - (2) 個人戦の組み合わせの方法は、種目委員会で協議し決定する。組み合わせ抽選会議を各地区予選前に代表者会と別日に設け、各地区種目理事が代表して抽選を行い、代表者会で公開する。
 - (3) 団体戦及び個人戦は、春の熊本県中学生ソフトテニス選手権大会（県中体連共催大会）のそれぞれベスト4の地区をシードする。尚、県選手権大会が行われなかった時は、熊本県中学生新人ソフトテニス大会（同共催大会）で同様にシードする。
2. 監督会議および選手変更について。
 - (1) 団体戦前に「監督会議」を、個人戦前に「個人戦監督会議」を行う。選手の変更は以下の通りとする。監督・コーチの変更は九州中体連大会に準じ、所定の手続きでそれぞれの監督会議までに行うこと。
 - ① 個人戦の場合
 - ・ペアのうち1名が事故・病気等で大会へ出場不可能となった場合、九州中体連に準じ、所定の手続きにより原則として「個人戦監督会議」までに県専門部長に届け出て、同一校で1名のメンバー変更ができる。2名ともに出場不可能な場合は棄権とする。
 - ② 団体戦の場合
 - ・参加申込をした選手が事故・病気等で大会へ出場不可能となった場合、九州中体連に準じ、所定の手続きにより県専門部長に届け出る。原則として「監督会議」までの届け出とする。
 - (2) 生徒指導上の選手変更は一切認めない。個人戦においては1名であってもそのペアを棄権とする。団体戦の場合には当該選手を団体登録8名からはずし、新たな選手の補充は行わない。
3. ベンチ入りについて。
 - (1) 審判台から見て左側のベンチを、番号の小さいチーム・ペアとする。
 - (2) 団体戦・個人戦ともベンチ入りは監督・コーチとするが、試合が複数同時に行われる場合は、それぞれのベンチにどちらかが入ることを原則とする。団体戦ではベンチ入りする監督・コーチは試合開始時の挨拶にたちあうこと。監督・コーチの登録内容や出場させているペア数・試合進行によって挨拶にたちあえない場合等には、試合前に本部に届け出ること。マッチの途中でベンチを入れ替わったり一度離れたベンチに再度もどることはできない。サイドコーチは禁止する。団体戦において2面展開以上で行う場合の監督・コーチのベンチの位置についてはソフトテニスハンドブックに準じる。
4. 熱中症対策等について。

監督は熱中症対策として水分補給に充分配慮し、本部が認める範囲内において水筒やクーラー・キーパー等をベンチに準備してよい。九州大会に準じ、2・4ゲーム終了後とファイナルゲームのサイドのチェンジ時も、熱中症対策のために指定された審判台付近での給水を、遅延行為・サイドコーチの対象とならない範囲において認める。日常の体育授業・部活動で使用している学校独自で作成したキャップの着用を認める。反射材の入った銀色等の日傘、および白色系の雨傘はプレーに支障をきたす場合があるので、応援者も含めて使用をひかえるが、これ以外の傘はベンチで使用してもよい。
5. 試合進行等について。
 - (1) 団体戦のオーダー票は2部作成し、1部は対戦相手が決まり次第本部に提出し、1部は整列時に相手チームと交換する。オーダーは本部提出を正とし、提出後の変更・訂正は認めない。個人戦で試合が連続する場合には、原則として10分間、時間をあける。
 - (2) 試合前の乱打は1分間とする。試合前のトスでサイドが決定した時点からストップウォッチで1分間計り、電子ホイッスルを鳴らしてレッツプレイをかける。サイドのチェンジの際の監督・コーチのアドバイスは1分以内とする。副審はストップウォッチを使い45秒で電子ホイッスルを鳴らす。続く15秒後に再度鳴らすと同時に正審が「レッツプレイ」をかけても動きがなければ警告とする。（ソフトテニスハンドブック競技規則第15条「ポイントの終了から1分以内に次のポイントを開始する体勢に入るものとする」）
 - (3) ポイントごとに選手同士の話や握手等で故意に時間を稼いだりして試合の進行を妨げている場合は警告（イエローカード）となる。（ソフトテニスハンドブック競技規則第15条（2）ア・イ・ウ）
 - (4) 選手・監督・コーチならびに応援も含めて出場する全関係者が、マナーアップに努めること。
6. 選手・監督・コーチの、ユニフォーム・ゼッケン・服装・用具等について。
 - (1) 選手・監督・コーチの服装・用具の色は華美に流れないようにする。選手は服装から出るアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。競技中、シャツの裾を外へ出したり、袖をまくることはしない。ソックスはくるぶしより上、ハイソックスは認めない。選手のユニフォーム・用具には新たにデザイン等を入れないこと。
 - (2) 選手・監督・コーチは別に定めるゼッケンをつける。
 - (3) ストリングに装着する衝撃吸収材・装身具は使用しない。
7. 主幹中体連による「会場使用上の注意」・「練習コート割り当て」等および、熊本県ソフトテニス連盟中学部委員会・中体連ソフトテニス競技専門部から配布している本年度の「熊本県中学生のソフトテニス大会で着用するユニフォーム規定について」・「監督・コーチの『助言』について」・「マナーアップについて」を熟読し、遵守すること。

「ゼッケンについて」

(1) 選手は以下に定めるゼッケンを背中につける。

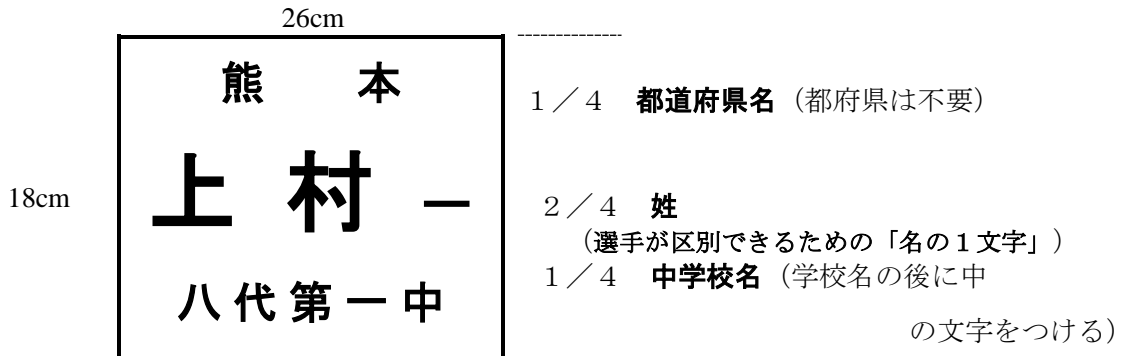
- ① 背中ゼッケンの表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」を使用し、独自の『ひらがな』『カタカナ』『ローマ字』などは使用しないこと。文字色は「黒」とする。
- ② 背中のゼッケンは、B 5 版大横（白地）（縦約 18 cm×横約 26 cm）の大きさのものに都道府県名、校名と姓を書く。県名の「県」の文字はつけないものとする。中学校は「中」と表記する。また、別の布で作られたもので縫いつけること。脱着に都合のよいようにホック(スナップ)等で留めることは許可する。
- ③ 背中のゼッケンをシャツそのものへプリントすることは認めない。
- ④ 背中のゼッケンで同名の学校がある場合には、区別をするために学校名の工夫をしてもよい。ただし、各地区ごとに望ましい表記をすること。
- ⑤ 背中のゼッケンの文字の位置は、下図例 1 のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、下図例 2 のように選手が区別できるための「名の 1 文字」を付け加えること。
- ⑥ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合、学校名をわかりやすくするために、下図例 2 のように学校所在地を付記してもよい。
- ⑦ 学校名が「〇〇中学校」の場合は〇〇中と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については中をつけずに、適当な表記で表現する。

《例 1 選手のゼッケン》 熊本市立藤園中学校 犬童 球溪



《例 2 同姓選手がいる場合・学校所在地を付記する場合》

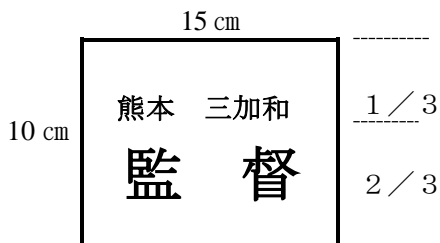
熊本県 八代市立第一中学校 上村 占魚・上村 占一ペア



(2) 監督・コーチは以下に定めるゼッケンを胸部につける。

- ① 大きさは縦 10 cm、横 15 cm の白地の布とし、文字は黒とする。
- ② 『都道府県名・学校名・【監督】または【コーチ】』と記述し、校名の後に「中」の文字はなくてもよい。他の表記は選手に準ずる。

例 3 熊本県三加和中の監督



例 4 熊本県荒尾市立第三中のコーチ

